

法蔵館書店ニュース 1月

目次

話題の本 P1
法蔵館新刊案内 P2~4
法蔵館重版案内 P4~5
法蔵館刊行予定案内 P5~6
法蔵館書店新着案内 P6~11

特集1:法蔵館書店 下半期売行ベスト20 P12
特集2:法蔵館書店 年間売行ベスト20 P13
特集3:沖縄の仏教~榕樹書林 P14
お知らせ P15
法蔵館書店ベスト10・メール配信サービスご案内 P16

★お知らせ★ 1、2月の書店休業日

1月のお休み：1~4日・9日・16日・23日・30日

2月のお休み：6日・13日・20日・27日

話題の本

●佛教タイムス

[今年の3冊] (2021/12/9・16合併号)

『神智学と仏教』

吉永進一著・碧海寿広解題・四六判・378頁
4,400円・ISBN:978-4-8318-5564-0

『伝教大師 最澄』

大久保良峻著・四六判・306頁・2,750円
ISBN:978-4-8318-7744-4

『対話哲学としての道元思想』

岡島秀隆著・A5判・432頁・11,000円
ISBN:978-4-8318-4567-2

『全訳 六度集経—仏の前世物語』

六度集経研究会訳・四六判・510頁・3,850円
ISBN:978-4-8318-7745-1

●読売新聞[朝刊:愛媛、大阪本社版] (2021/12/7)

●中国新聞 (2021/12/6)

●中外日報 (2021/11/24)

『絵ものがたり 正信偈 2』

一インドから中国へ ひかりを伝えたお坊さま』
浅野執持・文、釈 徹宗・解説
藤井智子・加藤 正・麻田弘潤・絵
A5横判・34頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-8791-7

●中外日報 (2021/12/3)

『華嚴法界義鏡講究』

藤丸 要著・A5判・624頁・13,200円
ISBN:978-4-8318-7747-5

●中外日報 (2021/12/3)

聖徳太子千四百年御聖忌記念出版

『聖徳太子と四天王寺』

和宗総本山 四天王寺編・石川知彦監修
B5変判・304頁・3,080円・ISBN:978-4-8318-6070-5

●朝日新聞 (2021/11/27)

『真宗悪人伝』

井上見淳著・四六判・284頁・1,980円
ISBN:978-4-8318-8790-0

●京都新聞 (2021/11/27)

『親鸞とマルクス主義』

一闘争・イデオロギー・普遍性』
近藤俊太郎著・A5判・544頁・8,250円
ISBN:978-4-8318-5565-7

●中国研究月報 第75巻第11号 (2021/11/25)

『隋唐洛陽と東アジア—洛陽学の新天地』

氣賀澤保規編著・A5判・392頁・6,050円
ISBN:978-4-8318-7743-7

●文化時報 (2021/11/15)

『親鸞の信と実践』

宇治和貴著・A5判・320頁・3,300円
ISBN:978-4-8318-3844-5

●佛教タイムス (2021/11/11)

『英国の仏教発見』【法蔵館文庫】

フィリップ・C・アーモンド著・奥山倫明訳
文庫判・400頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-2623-7

法蔵館文庫

◆増補 菩薩ということ 法蔵館文庫

【仏教】

梶山雄一 著、桂 紹隆解説・文庫判・224頁・1,100円
ISBN:978-4-8318-2630-5

私たちはいかに生きるべきか。迷いと悟りの世界を生きる菩薩。大乘仏教の人間像を探究しつづけた著者が到達した最終的な菩薩像とは。

■目次

菩薩ということ

菩薩——般若經典におけるその語義と理念

般若の思想

空の世界

落語と仏教——あとがきにかえて ほか



◆ウィトゲンシュタイン・文法・神 法蔵館文庫

【哲学／思想】

アラン・キートリー著、星川啓慈訳・文庫判・293頁・1,320円
ISBN:978-4-8318-2631-2

ウィトゲンシュタインの「文法」概念を宗教研究に応用し、自然主義・相対主義・還元主義をのりこえる視点を提供する宗教哲学の好著。

■目次

第一章 宗教的信念とウィトゲンシュタインの哲学

第二章 文法と宗教的信念の意味

第三章 ウィトゲンシュタイン学派の新展開

第四章 葛藤の系統化

第五章 還元主義という問題 ほか



◆真宗と現代葬儀——「葬儀」と「死」のゆくえ

【真宗／仏教】

蒲池勢至著・四六判・148頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-6269-3

商品化し世俗化した葬儀。ホトケですらない死者。急速に変化する現代葬儀に真宗はどう対応するのか。民俗から問う葬儀と死のゆくえ。

■目次

I 真宗と現代葬儀の課題

II 真宗民俗から現代葬儀を問う

III 死をいかに見つめるか

IV 「葬儀」と「死」のゆくえ ほか



◆日本と「琉球」—— 南島説話の展望

【説話／伝承学】

福田 晃著・A5判・464頁・5,500円・ISBN:978-4-8318-7753-6

弁慶、将門、為朝の鉄人伝承の背景とは。南島（琉球）文化の奥底に通底する「日本」を再発見。説話・伝承学研究の泰斗による集大成。

■目次

緒言——柳田・折口の学問を追う

第一部 伝承の始原

第二部 鉄人伝承の展開

第三部 伝承の展望

資料編 「南島説話大成」試案 ほか

試し読み



◆密教図像 40

【美術史／密教】

密教図像学会編・B5判・112頁・3,080円・ISBN:978-4-8318-0440-2

美術史と密教学を連携させた密教図像学の立場からアジアの宗教美術を考察。密教美術をテーマとした論文集。

■目次

宮治昭「ガンダーラにおける大乘仏教美術の様相

——「三尊タイプ」「発出タイプ」「楼閣タイプ」を中心に」

鍵和田聖子「密観宝珠形舍利容器の密教的背景」

永田郁「古代インドにおける菩薩造像のメカニズムに関する一試論

——根本説一切有部律と「ヒンドゥー化」との関連を通して」

大観慈聖「『マハーマーヤー』とは誰か

——インド後期仏教密教における女神の諸相」

檜山智美「クチャ（亀茲）国の早期の説一切有部系仏教寺院

の復元的考察」 ほか

密教図像



第40号
密教図像学会

◆中国中古の学術と社会

【中国史／思想】

古勝隆一著・A5判・406頁・5,500円・ISBN:978-4-8318-7752-9

儒仏道・目録学・注釈学・国家権力・地域性に着目して、中古時期に展開した複雑多様な知のダイナミズムを多角的に分析する。

■目次

上 篇 儒道注釈と学術史

第一章 注釈と書物

第二章 魏晋期の儒教

第三章 魏晋『莊子』注釈史における郭象の位置

第四章 隋代儒教の地域性——特に山東儒者について

第五章 『隋書』経籍志史部と『史通』雑述篇

第六章 『論語』と日本——集解・義疏の伝承を中心として

下 篇 儒仏道と中古社会 ほか

試し読み



◆増訂 天台教学と本覚思想

【哲学／仏教】

大久保良峻著・A5判・382頁・13,200円・ISBN:978-4-8318-7750-5

本覚思想と天台教学の関わりを初めてその起源から究明。
付録に証真撰『天台真言二宗同異章』註解を収載する。2
編の新稿を付した決定版。

■目次

- I 本覚思想と現実肯定思想
- II 即身成仏論の展開
- III 平安末の天台学
- IV 天台学の特長問題
- V 訳註 証真撰『天台真言二宗同異章』

試し読み



法蔵館重版案内

◆真宗悪人伝

2刷 【真宗／仏教】

井上見淳著・四六判・284頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-8790-0

親鸞、熊谷直実、弁円、善鸞、唯善、蓮崇、顕如、教如、智
洞、金子大榮。彼らはなぜ「悪人」と呼ばれたか。真宗史に
輝く、「悪人」たちの物語！

■目次

- 善信房親鸞 1 闇から光へ／2 出遇い／3 別離のとき／
4 教えに生きる／5 求道の跡
- 熊谷直実 平等の社会をもとめて／法然聖人と蓮生／
往生の予告
- 弁 円
- 慈信房善鸞 ほか



◆法話のきほん

3刷 【真宗／仏教】

伊東恵深著・四六判・138頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-8776-4

どう話を作るのか、話す時・原稿を書く時に気をつけること
は何か。理念・準備・実践をゼロから学べる一冊。「話し上
手」のコツ満載！

■目次

- 理念篇 「法話」とは何か
- 第1章 仏法との出遇いを語る／第2章 法話と説教／
第3章 「教えを伝える」とは／第4章 憶念し続ける／コラム1 法話と拍手
- 準備篇 法話の作り方
- 第1章 構想を練る／第2章 原稿を書く／第3章 推敲する
第4章 「まなぶ」は「まねぶ」／コラム2 本山法話での大失敗 ほか



◆定本教行信證

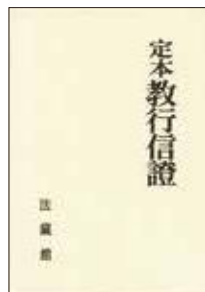
12刷 【真宗／仏教】

親鸞聖人全集刊行会編、細川行信著・A5判・388頁・6,050円
ISBN:978-4-8318-4012-7

坂東本を底本とし、西本願寺本、専修寺本で校訂した『教行信証』を、さらに詳細厳密に再校訂、大判大活字とした。

■目次

顕浄土真実教行證文類序
顕浄土真実教文類一
顕浄土真実行文類二
顕浄土真実信文類序
顕浄土真実信文類三
顕浄土真実證文類四 ほか



◆臨床現場の死生学

2刷 【生命倫理／宗教】

——関係性にみる生と死

佐々木恵雲著・A5判・276頁・4,180円・ISBN:978-4-8318-8175-5

死を理解するには科学的視点だけではなく、哲学・社会学・宗教学等の学際的・総合的な視点が必要であることを提唱する画期的研究。

■目次

第一章 二人称の死——新しい概念としての「関係性の死」
第二章 三人称の死——今、再び脳死と臓器移植を問う
第三章 一人称の死——命は誰のもの



法藏館刊行予定案内

〈2022年2月 刊行予定〉

◆ひとりふたり・・——春彼岸を迎える

【真宗／仏教】

四衢 亮著・A5判・24頁・136円・ISBN:978-4-8318-1162-7

身近なことから真宗の教えにふれる聞法誌。人気連載多数で、わかりやすく面白い、参考になる、気軽に読める、と好評です！

◆新装版 現代に立つ親鸞

【真宗／仏教】

星野元豊著・四六判・168頁・1,650円・ISBN:978-4-8318-6581-6

ほんとうの人生とは何か。乱世のなかに真実を追求してやまなかった親鸞精神こそが対立解消の世界であることと感得した一冊。

◆浄土真宗とは何か——『教行信証』のころ

金子大榮著・文庫判・240頁・825円〈東本願寺出版〉

「真宗とはどのような教えですか？」小さな子どものこの問いに、仏法の聞思と伝道に生涯を尽くした学僧はどう応えるのか……？
 〴〵真宗を青少年にもわかるように、という願いのもと、近代真宗教学の礎を築いたひとり、金子大榮氏が、親鸞聖人の主著『教行信証』の要所の意識をまじえつつ、明快に語った一冊。



◆声明旋律型の分類

堤 楽祐著・A5判・130頁・1,650円〈永田文昌堂〉

声明の基本の旋律型を「勤式集」の回旋譜で表した35の基本形を元に、さらにその形や音階によって分類し、「勤式集」等の出現箇所を示す。



【新潮選書】

◆私の親鸞——孤独に寄りそうひと

五木寛之著・四六判・196頁・1,485円〈新潮社〉

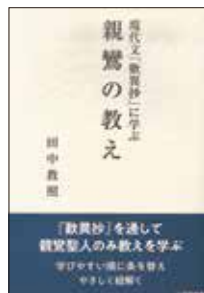
「自分は人間として許されざる者である」——心の中に孤独を抱きながら、二十代を過ごし、やがて三十歳を過ぎた頃、偶然に出会った親鸞の言葉。その時、なぜ私は「ああ、この人は自分のことを分かってくれる」？とありえず、自分も生きていくことが許される」と思えたのか。その思想を追いつけて半世紀、わが心の内の親鸞を語る。



◆現代文「歎異抄」に学ぶ 親鸞の教え

田中教照・A5判・484頁・2,970円〈山喜房佛書林〉

平成11年から23年にかけて、浄土真宗本願寺派東京教区山梨組で開催された「歎異抄を学ぶ会」の内容をまとめたもの。学びのしやすさを第一にして条の順番を変え、親鸞聖人の教えをやさしく紐解く。



◆今日の宗教の可能性

大峯 顕著・四六判・151頁・1,320円〈百華苑〉

1989年に本願寺出版社から発売されたものの復刊。

1988年5月と6月の、浄土真宗本願寺派教学本部主催の住職課程での講義録。



◆季刊せいてん No.137

浄土真宗本願寺派総合研究所編・B5判・67頁・700円〈本願寺出版社〉

■目次

- 特集 「〈文殊小僧〉と呼ばれた男——玄智とは何者だったのか?」
- はじめの一步 1 江戸時代の庶民的な仏教書とお説教 6……和田恭幸
- 聖典セミナー 『恵信尼消息』 2……山本攝叡
- せいてん誌上講演 『蓮如上人御一代記聞書』 8……稲城選恵
- ほとけのいる景色——アジャンター石窟寺院 (終)……打本和音 ほか



【本願寺出版社新書 15】

◆仏教で人生を変える——現代と救い

西原祐治著・新書判・135頁・770円〈本願寺出版社〉

文明に溺れる人間の愚かさ、見直すべき人生の意味、救いの根底にあるもの…。浄土真宗の教典から生きる支えとなる言葉を紹介。日常に潜む逆説的な人間の本性をえぐり出し、そこに仏教の可能性を探る。



◆正しい絶望のすすめ

——浄土の教えに生きる

西原祐治著・四六判・189頁・1,320円〈本願寺出版社〉

絶望とは、希望を断念し、希望への執着から自由になること。絶望こそ、阿弥陀仏の世界に開かれる起点となる。浄土真宗の教えを基に、科学や芸術など様々な分野を縦横無尽に行き来し、時代の背景にある人間の深層を探る。



◆真宗法名字選 (オンデマンド版)

東京教化グループ研究部編・A5判・110頁・2,750円〈中山書房仏書林〉

法名は読みやすいこと、語感のよいこと、語呂のあう熟字にすることが大切な条件である。本書は、主として浄土三部経その他の聖教などから、法名・院号に適した漢字を選び出したもの。法名・院号についての解説もついた、座右の宝典。



◆節談説教 第25号

節談説教研究会編・A5判・98頁・880円〈節談説教研究会〉

■目次

『白骨の御文章』をめぐる「物語」 直林不退
報恩講説教(前席) 蓼慶典
復刻『説教妙弁辞典』シ〜ショウセイ
田淵静縁著 府越義博復刻
冬期中央錬成会開催のお知らせ ほか



◆仏の述べたことば註(如是語経註)

—— イティヴッタカ・アッタカター

及川真介訳・菊判・910頁・22,000円〈春秋社〉

パーリ經典の小部に含まれる「如是語経」と、その注釈書「イティヴッタカ・アッタカター」の全訳。
巻末にパーリ語索引を付した。



【角川ソフィア文庫 1415-1】

◆インド史—— 南アジアの歴史と文化

辛島 昇著・文庫判・242頁・1,210円〈KADOKAWA〉

インダス文明から始まり、カースト制度の成立や仏教の誕生、列強による植民地化、そして独立運動に至るまで、5000年にわたる悠久のインド史を南アジア研究の大家が描き出す。写真40点を掲載。



◆紙芝居 ふたりのパンタカ—— 仏典童話より

畠中光享：絵、渡邊愛子：文、楠 章子：監修
260mm×380mm（ケース付）・8頁・1,760円〈東本願寺出版〉

遠い昔のインドで、お釈迦様のお弟子となった二人の兄弟のお話です。賢い兄は熱心に努力したのですがすぐに立派なお弟子になりましたが、物覚えが悪く修行についていけない弟の愚かさにあきれて、弟をひそかに家へ帰そうとします。するとお釈迦様は……。お寺の子ども会をはじめとする仏事の中で、青少年とともに教えに親しむことのできる教化教材としての紙芝居です。1,000部限定。



◆仏さまの世界へ誘う 今昔ものがたり 抄

末本弘然著・A5判・291頁・1,980円〈本願寺出版社〉

仏教的視点からみた数々の説話が収められている「今昔物語集」を、僧侶の著者がテーマに合わせて並べ替え、原文を尊重しながら現代語訳。自身の解釈で話の要点をまとめる。月刊誌『御堂さん』連載に加筆訂正し単行本化。



◆空海を生きる

ひろさちや著・四六判・205頁・1,650円〈佼成出版社〉

真言宗の開祖、弘法大師空海(774-835)の生涯と思想を紹介しながら、その生き方や考え方が現代に生きる私たちにどのような示唆を与えてくれるのかを解明する。「いかにして仏教を人生に活かすか」を探究してきた著者の研究・思索の集大成。



◆老いと死をめぐる現代の習俗 —— 棄老・ぼっくり信仰・お供え・墓参り

佐々木陽子著・A5判・312頁・7,480円〈勁草書房〉

老いや死に対する人々の矛盾や葛藤を掬い上げる「あの世」とは。既存の宗教や科学に依拠せず、老いと死に折り合いをつけようとする現代の4つの習俗「棄老」「ぼっくり信仰」「お供え」「墓参り」を通じ、その実相に迫る。



◆共に生きるスピリチュアルケア

—— 医療・看護から宗教まで

瀧口俊子、大村哲夫、和田 信編著・A5判・398頁・3,520円〈創元社〉

人が死を迎えるなかでもとくに複雑で、対処が難しいと言われる「スピリチュアルペイン(たましいの痛み)」。多様な分野で活躍するスピリチュアルケアの研究者・実践者が、各領域からその実像に迫る。



◆「ほとけ」論—— 仏の変容から読み解く仏教

正木 晃著・四六判・573頁・3,850円〈春秋社〉

仏は日本では死者も指すように広い概念である。この仏教の根幹ともいえる「仏」の概念の展開を、その前提となるパラモン教から始め、釈迦、部派仏教、大乘仏教、密教、日本仏教までを網羅した「仏」から読み解く仏教史。

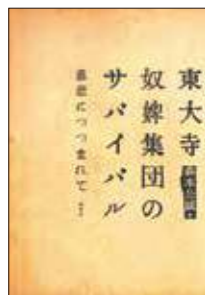


◆東大寺奴婢集団のサバイバル

—— 慈悲につつまれて

森本公誠著・A5判・243頁・2,750円〈阿吽社〉

奈良時代の東大寺附属奴婢を東大寺文書の詳細な再検討によってこれまでの古代奴隷制経済理論のくびきから解放し、寺院支配下における新たな古代共同体形成過程の類型を示す意欲作。



◆観音像とは何か

—— 平和モニュメントの近・現代

君島彩子著・A5判・234頁・2,640円〈青弓社〉

戦争や社会状況、人々の信仰や思いを背景に時代ごとに性格を変えながらも、平和の象徴として共通認識されることでモニュメントとして独自の発展を遂げた観音像の近・現代史を描き出す。



◆戦後日本の宗教者平和運動

大谷栄一編・四六判・358頁・3,960円〈ナカニシヤ出版〉

戦争責任、靖国、反核、世界平和——。

戦後日本の宗教界は、戦争協力への反省から、平和運動に活発に取り組んできた。

その軌跡を辿り直し、戦後社会におけるその意義を問う。



法蔵館書店新着雑誌案内

◆同朋 1月号

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円〈東本願寺出版〉

「仏教がみちびく、あらたな人生」をコンセプトに、生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

◎インタビュー 本上まなみさん(俳優・エッセイスト)

日々の出来事を書き留めて、丁寧な時間を重ねていけたら。

◎特別企画 お経ってなんだろう？

・小林聡美のぼちぼちは好日

・東本願寺界限 今昔物語……「矢野」

・makihancoさんのアトリエ訪問 ほか



◆大乘 1月号

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円〈本願寺出版社〉

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。研修会や勉強会にも最適！ 門徒推進員の方にもおすすめです。

■目次

・ご門主 年頭の辞

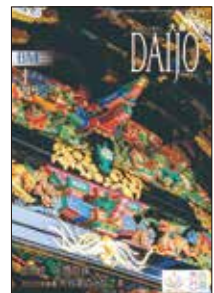
・釈徹宗の随縁探訪……ゲスト：金児曉嗣さん

・マンガ お釈迦さま物語「二人の仙人」……岡橋徹栄×一ノ瀬かおる

・親鸞聖人いまずば「まいりあい」……和氣秀剛

・親鸞聖人からのお手紙……佐々木義英

・教えて！ 浄土真宗「親鸞聖人の仏身仏土説」……藤澤信照 ほか



特集1

法蔵館書店 2021年・下半期売行ベスト20



1 溶け合う世界へ——南無阿弥陀仏のすくい2

瓜生 崇講述・A5判・36頁・110円(響流書房)

下半期も勢い衰えず、年間1位も獲得！下半期は特に、報恩講などのお配り物と思われるご注文が多数ありました。本作もロングセラーになりそうな予感。



2 南無阿弥陀仏のすくい

瓜生 崇講述・A5判・36頁・110円(響流書房)

1位の「溶け合う世界へ」を先に読んでこちらをお買い上げになる方も見られ、また2冊セットでのお買い上げというパターンも目立ちました。一体いつまで売れ続けるのか？



3 生死出ずべき道——コロナの時代、私たちはいかに生きるべきか

一楽 真講述・A5判・45頁・200円(真宗大谷派大阪教区第十二組)

昨年6月の真宗講座での講義録。時節に合った内容でもあり、発売直後から多数のご注文が相次ぎました。発行元でも初版分がすぐに完売し、増刷をかけたそうです。

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
4	正信偈講義 I	藤場俊基	サンガ伝道叢書	880円
5	お寺の掲示板——諸法無我	江田智昭	新潮社	1,100円
6	浄土論註講義 I	藤場俊基	サンガ伝道叢書	880円
7	親鸞に聞く 大無量寿経の意Ⅲ	藤場俊基	サンガ伝道叢書	880円
8	お寺の掲示板	江田智昭	新潮社	1,100円
9	二河白道ものがたり——いのちに目覚める	英月	春秋社	1,980円
10	真宗悪人伝	井上見淳	法蔵館 8790	1,980円
11	大いなる共震の「悲の海」へ	高柳正裕	サンガ伝道叢書	880円
12	絵ものがたり 正信偈 2——インドから中国へ ひかりを伝えたお坊さま	浅野執持:文、釈 徹宗:解説 藤井智子・加藤正・麻田弘潤:絵	法蔵館 8791	1,430円
13	今日の宗教の可能性	大峯 顯	百華苑	1,320円
14	改訂 歴史のなかに見る親鸞【法蔵館文庫】	平 雅行	法蔵館 2628	1,210円
15	観音菩薩の化身 聖徳太子——浄土真宗「和国の教主」	本願寺出版社	本願寺出版社	880円
16	ねえ、お坊さん教えてよ 死んだらどうなるの？	岡崎秀麿 富島信海	本願寺出版社	1,760円
17	石山合戦を読み直す——軍記で読み解く日本史	塩谷菊美	法蔵館 6268	2,200円
18	高僧と讀講義(四)——源信・源空	延塚知道	方丈堂出版	2,090円
19	ねえ、お坊さん教えてよ どうしてお葬式をするの？	岡崎秀麿 富島信海	本願寺出版社	1,760円
20	考える親鸞——「私は間違っている」から始まる思想	碧海寿広	新潮社	1,595円

特集2

法藏館書店

2021年・年間売行ベスト20



溶け合う世界へ——南無阿弥陀仏のすくい2

瓜生 崇講述・A5判・36頁・110円〈響流書房〉

予想通りではありますが、救いの平等性について深く考察した内容が幅広い支持を集めました。前作「南無阿弥陀仏のすくい」を読んで期待されていた方も多かったようです。



南無阿弥陀仏のすくい

瓜生 崇講述・A5判・36頁・110円〈響流書房〉

一時期ほどの勢いはなくなったものの、息の長い売れ方で3年連続のベスト3入り。止まらなくてはまた動き出すという謎の周期を繰り返し、月間1位を記録する月もありました。



生死出ずべき道——コロナの時代、私たちはいかに生きるべきか

一楽 真講述・A5判・45頁・200円〈真宗大谷派大阪教区第十二組〉

本作を含む今年のベスト3はいずれも施本としての需要が高かったものですが、価格面だけでなく内容の充実度もランクインの要因となっているようです。これから上位2点を脅かす存在になる



順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
4	正信偈講義 I	藤場俊基	サンガ伝道叢書	880円
5	お寺の掲示板——諸法無我	江田智昭	新潮社	1,100円
6	1000の言葉	方丈堂出版編集部編	方丈堂出版	1,650円
7	法話のきほん	伊東恵深	法藏館 8776	1,430円
8	【文春新書1283】歎異抄 救いのことば	釈 徹宗	文藝春秋	1,045円
9	お寺の掲示板	江田智昭	新潮社	1,100円
10	築地本願寺の経営学——ビジネスマン僧侶にまなぶ常識を超えるマーケティング	安永雄彦	東洋経済新聞社	1,760円
11	浄土論註講義 I	藤場俊基	サンガ伝道叢書	880円
12	人生を照らす 親鸞の言葉	真宗大谷派名古屋別院	リベラル社	1,100円
13	親鸞に聞く 大無量寿経の意Ⅲ	藤場俊基	サンガ伝道叢書	880円
14	いつでも歎異抄	井上 見淳・意訳 ——瀬かおる・画	本願寺出版社	770円
15	二河白道ものがたり——いのちに目覚める	英月	春秋社	1,980円
16	第50回鸞音忌記念法話集 浄土得生の正信	曾我量深講述	順照寺	1,000円
17	教えて、釈先生! 子どものための仏教入門	釈 徹宗	講談社	1,430円
18	親鸞聖人の自筆にふれる正信念佛偈	東本願寺出版	東本願寺出版	1,100円
19	親鸞の出遇った世界 浄土真宗 I 【教行信証化身土巻講義】	平野 修	真宗大谷派大阪教務所	2,530円
20	信心の書『歎異抄』講座——自己をみつめ、弥陀の本願に出遇う	三明智彰	大法輪閣	2,530円

特集3 沖縄の仏教～榕樹書林

資料が極めて少なく日本仏教史研究において死角となっている沖縄の仏教。今回は琉球～沖縄の仏教史に関する貴重な研究書を刊行されている、沖縄の郷土資料専門出版社「榕樹書林」の出版物をご紹介します。

◆琉球沖縄仏教史

知名定寛著・A5判・310頁・4,950円

前著『琉球仏教史の研究』以降の最新の研究成果を踏まえ、琉球沖縄の仏教を通史的に概観することによって仏教の沖縄社会の中の位置を明らかにすると共に、何ゆえに又、傍流に追いやられることになったのかも浮かび上がらせる。

最新刊



◆浄土真宗沖縄開教前史

—— 仲尾次政隆と其背景

伊波普猷著、知名定寛解説・A5判・74頁・1,100円

1926年明治聖徳会から刊行された初版本の復刻。小著ながら、沖縄仏教史研究の端緒を切り開いた名著。琉球王国時代の末期に禁制の浄土真宗を信仰した仲尾次政隆の生涯と、信仰に基づく実践・活動に焦点を当てる。



◆琉球仏教史の研究

知名定寛著・A5判・458頁・7,040円

琉球時代における仏教展開の実態を綿密に分析・考察し、その歴史的全体像を可能な限り明らかにして、500年前の琉球が仏教王国であったことを論証し、新しい琉球史像を提示した挑戦の書。



◆その他好評発売中！

- ・奄美沖縄の火葬と葬墓制 加藤正春著・A5判・344頁・6,160円
- ・沖縄宗教史の研究 知名定寛著・A5判・430頁・10,467円
- ・沖縄社会とその宗教世界 吉野航一著・A5判・376頁・6,600円

お知らせ

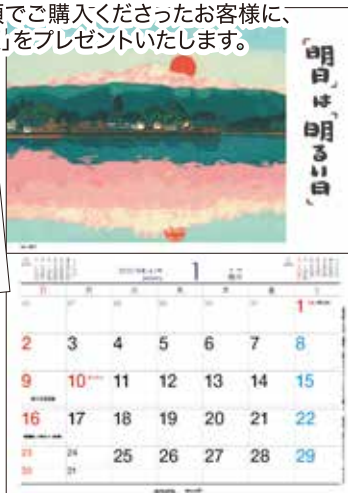
2022年新春プレゼント！

2022年1月5日より、法藏館書店店頭でご購入くださったお客様に、先着で「ほのぼのカレンダー2022年版」をプレゼントいたします。



先着
50名様

季節感のある絵で見飽きない、
月々の言葉がいい、使いやすい、と
好評発売中のカレンダーです。
まずは気軽にご来店いただき、
カレンダーをゲットしてください！



特価販売の予約開始！

◆縮刷版 伝教大師真蹟集成

B5判・上製貼函入・246頁

現存する伝教大師の遺墨すべてをカラーで
収めた貴重な一冊！（※解説・釈文付き）

■収録真蹟

- 久隔帖(国宝)
- 入唐牒(国宝)
- 天台法華宗年分縁起(国宝)
- 六祖恵能伝(国宝)
- 羯磨金剛目錄(国宝)
- 伝教大師将来目錄(国宝)
- 弘法大師請来目錄(国宝)



内容見本

定価 9,900円(税込) ➡ **7,900円(税・送料込)** ※専用注文書でお申込みください。
詳しくは、法藏館(TEL075-343-0458)まで。

紀伊國屋じんぶん大賞2021に

親鸞とマルクス主義——闘争・イデオロギー・普遍性

近藤俊太郎著・A5判・544頁・8,250円・ISBN:978-4-8318-5565-7

が23位に**ランクイン**しました！！

●2022年2月頃より、紀伊國屋書店チェーンでフェア開催予定！

◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(12月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	溶け合う世界へ——南無阿弥陀仏のすくい2	瓜生 崇	響流書房	110円
2	お寺の掲示板——諸法無我	江田智昭	新潮社	1,100円
3	生死出づべき道——コロナの時代、 私たちはいかに生きるべきか	一楽 真	真宗大谷派 大阪教区第十二組	200円
4	お寺の掲示板	江田智昭	新潮社	1,100円
5	二河白道ものがたり——いのちに目覚める	英月	春秋社	1,980円
6	南無阿弥陀仏のすくい	瓜生 崇	響流書房	110円
7	今日の宗教の可能性	大峯 顯	百華苑	1,320円
8	石山合戦を読み直す——軍記で読み解く日本史	塩谷菊美	法藏館	2,200円
9	改訂 歴史のなかに見る親鸞【法藏館文庫】	平 雅行	法藏館	1,210円
10	高僧と讃講義(四)——源信・源空	延塚知道	方丈堂出版	2,090円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<http://www.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

- ◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。
- ◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料——450円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料
- ◆価格表示は全て税込価格です。

法藏館書店 友の会会員募集中!

友の会に入会すると、割引や来店特典など
多数の特典をご用意しております。

詳しくはここをクリック

法藏館書店
友の会
会員証



法藏館書店

住所: 〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入

電話: 075-343-0458 FAX: 075-371-0458

発行人: 西村明高

E-mail: shop@hozokan.co.jp

[営業日および営業時間]

月～土: 9:30～18:00

祝 日: 10:30～18:00

(休業日: 毎週日曜日・お盆・年末年始)

<http://www.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



仏教書総目録刊行会 <http://www.bukkyosyo.gr.jp>

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!

twitter

facebook

つばやき中～!

